

**平成 1 9 年度北見市事務事業評価
外部評価報告書**

平成 2 0 年 1 1 月
北見市行政評価委員会

報告書目次

1．報告にあたって	1
2．平成19年度外部評価の経過	2
(1) 評価対象の選定	2
(2) 行政評価委員会の開催経過	3
(3) 評価の考え方	3
3．外部評価結果	5
(1) 事務事業の個別評価結果	5
(2) 職員の評価に取り組む姿勢	8
(3) コミュニケーションシートの記載	8
(4) 適正な成果指標の設定	9
(5) 施策単位での事務事業評価	9
4．今後の課題	10
5．北見市行政評価委員	10
別紙「北見市行政評価委員会評価結果」	11

1. 報告にあたって

旧北見市において、平成12年度に行政評価システムが導入され、平成13年度からは全ての事務事業を対象に評価が行われている。

行政評価システム導入の目的は、「成果志向型による効果的・効率的な行政運営の実現」、「市民との情報の共有化と説明責任の確保」及び「職員の意識改革」の3つであった。

また、平成16年度からは、専門家、学識経験者などの第三者で構成する北見市行政評価委員会が設置された。その目的は、行政内部で行っている評価について、客観性や透明性を高めるとともに、事務事業評価の更なる充実を図ること、PDCAマネジメントサイクル（計画・実施・点検・改善）が明確になるようなコミュニケーションシートの改善を図ること、市民が閲覧しやすいホームページの改善を図ることなどであった。

平成18年3月5日に旧北見市、端野町、常呂町、留辺蘂町が合併し、新しい北見市が誕生した。新北見市においても、旧北見市の行政評価委員会の設置要綱を基本に「北見市行政評価委員会」が設置され、行政内部での評価について第三者、市民の目線での評価、検証及び事務事業そのものについての評価が本委員会に委ねられることとなった。

昨年の評価に引き続き、平成19年11月から今年9月まで、平成19年度事務事業評価に対するコミュニケーションシートの記載方法や内容の検証を行うとともに、事務事業の評価についても外部評価を精力的に実施してまいりました。

この報告書は、行政評価委員会の1年間の活動や検討結果を記載し、北見市における行政評価の今後の取り組みについて提言するものである。

毎日の事務事業を執行するのは北見市の職員であり、本報告書を踏まえて「より効果的であるか」「より効率的であるか」「より経済的であるか」を考えながら創意工夫点を見出していきたい。

最も重要な事は、「昨年も実施したから今年も実施する」という意識ではなく、その事業の有効性の程度を適切に把握し実行することです。

私ども委員会は、そのための提案を今後も続け、市民のニーズに応える効果的な事務事業の執行を願っております。

2. 平成19年度外部評価の経過

評価対象の項目の絞り込みについては、中間・事後の評価数が1,212件、事前の評価数が371件、合わせて対象数が1,583件となっており、全ての事務事業を評価することは、時間的に困難であることから、前回と同様に中間・事後の評価結果において「現状のまま継続」とした706項目について、行政評価委員会がまちづくり計画の基本目標を基に、具体的な事務事業項目から自ら選定した項目について、事業担当部局とヒアリングを重ね、外部評価として検討、検証を行った。

(1) 評価対象の選定

平成19年度事務事業評価した中間・事後の評価結果において「現状のまま継続」とした706項目の内、外部評価対象としたのは、6基本目標33事務事業である。

番号	基本目標名	評価対象部局	事務事業数
1	人と自然が共生する環境の創造	市民環境部	4
		農林水産商工部	2
2	心豊かに生きる力を育む教育文化の創造	学校教育部	1
		社会教育部	4
3	思いやりの中で安心して暮らせる健康福祉の創造	保健福祉部	6
4	地域資源を活かした産業活力の創造	農林水産商工部	6
5	オホーツク中核都市にふさわしい都市基盤の創造	市民環境部	2
		都市建設部	3
		消防本部	1
6	参画と協働による住民自治の創造	総務部	1
		市民環境部	2
		都市建設部	1

(2) 行政評価委員会の開催経過

行政評価委員会は、市が行った事務事業評価（コミュニケーションシート）に基づき、事業担当部局からヒアリングを実施した。また、ヒアリングにおける説明や質疑を踏まえ、委員ごとに指摘事項を出し合い、行政評価委員会として合議により評価結果及び付帯意見の取り纏めを行った。

会 議	開 催 日	内 容
第11回行政評価委員会	平成19年12月19日	・平成18年度外部評価結果の意見に対する回答について ・平成19年度コミュニケーションシートの公表について ・評価の進め方について
第12回行政評価委員会	平成20年 1月22日	・第8回ヒアリング（6事務事業項目）
第13回行政評価委員会	平成20年 2月20日	・第9回ヒアリング（5事務事業項目） ・第8回事務事業評価結果の確認
第14回行政評価委員会	平成20年 3月21日	・第10回ヒアリング（6事務事業項目） ・第9回事務事業評価結果の確認
第15回行政評価委員会	平成20年 4月24日	・第11回ヒアリング（6事務事業項目） ・第10回事務事業評価結果の確認
第16回行政評価委員会	平成20年 7月10日	・第12回ヒアリング（6事務事業項目） ・第11回事務事業評価結果の確認
第17回行政評価委員会	平成20年 8月22日	・第13回ヒアリング（4事務事業項目） ・第12回事務事業評価結果の確認
第18回行政評価委員会	平成20年 9月10日	・第13回事務事業評価結果の確認 ・平成19年度事務事業内部評価の総合評価について ・外部評価の今後の課題等について
第19回行政評価委員会	平成20年10月17日	・外部評価報告書（案）について

(3) 評価の考え方

行政（事務事業）評価は、市が自ら事務事業の点検・評価を行い、改革改善案を考え、その結果を予算等の企画立案に反映して、実行していくための仕組みである。

より具体的には、その事務事業が「市民にとって有用なものか」、「効果が得られているか」などを判断するための仕組みである。

行政評価委員会に求められている役割は、市が行う自己評価に対して、外部の立場、市民の立場から評価を行うこと及びコミュニケーションシー

トの様式・形式面の問題点などについて評価を行うことである。

業務に精通した職員による前例踏襲的な評価とは異なり、市民目線により近い多様な指摘を行うことである。そのことにより、「市民のための事務事業」の実施を押し進め、「市民のための行政」に近づけることである。

また、市民への重要な情報提供資料であるコミュニケーションシートの読みやすさの検証、助言も行政評価委員会の重要な役割である。

特に重要な評価対象とした項目は次のとおりである。

コミュニケーションシート「2.事務事業の概要と目的」及び「3.事務事業の現状」を中心に評価し、特に事務事業の目的が分かりやすく記載されているか、また、成果指標については、事務事業が目指している効果や成果を適切に表す設定となっているか。

コミュニケーションシート「5.事務事業の評価」（担当課評価）が的確に行われているか。など

外部評価に際して考え方の視点としたのは次のとおりである。

項目	内容
事務事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none">・市が税金をかけて実施する事業としてふさわしく、市民に対して説明できているか。・社会情勢や市民ニーズの変化に、事業の必要性が合致しているか。・事務事業が施策に結びついているか。・事業目的などが、市が果たすべき役割として妥当であるか、市が行う必要があるか。
事務事業の有効性	<ul style="list-style-type: none">・市民の視点に立った事務事業内容であり、市民満足度からみて有効であるか。・施策を表現する手段として事務事業が有効であるか。・現在の事務事業が最良であり、効果的な成果が得られているか。
事務事業の効率性	<ul style="list-style-type: none">・事務事業の実施により、費用や業務量に見合った効果（コストパフォーマンス）が得られているか。・同一の費用又は業務量で、より大きな効果が得られないか。・外部委託やIT化、業務の簡素化でコスト削減ができないか。・類似の事務事業と連携して効率的に執行できないか。・受益者負担の余地はないか。
コミュニケーションシート全般	<ul style="list-style-type: none">・市民に分かりやすい記載となっているか。・事務事業の達成状況（成果指標値）が適正な指標となっているか。・事務事業の概要と目的、現状が評価や改善プランに結びついているか。

3. 外部評価結果

今回、評価対象とした項目は、「現状のまま継続」とされた事務事業であり、事前評価対象事務事業に比べて、必要性については問いにくいところがあるが、合併に伴い増加した事務事業の統合など効率化の余地はないか、改革・改善の取り組みがなされているかなどの点に留意し評価を実施した。

また、事務事業の実施そのものは法律などに定められていても、事務事業内容や財源負担など市の裁量が発揮できる部分、付加的に実施している事務事業においても、改革・改善に向けた取り組みが行われているかなどについて評価を実施した。

(1) 事務事業の個別評価結果

「2.(3) 評価の考え方」で示した「外部評価に際して考え方の視点」に沿い、評価の対象として選定した33の事務事業について6回に分け評価を行い、委員から様々な指摘がなされた。そのうち、再評価が必要とされた事業についての主な指摘事項は、次のとおりである。

再評価が必要

- ・「民有林指導育成事業補助金」では、年々計画的に補助金が削減されており、経営の安定化が推測できることから、将来的には補助の必要性を検討する必要がある。
- ・「リサイクルプラザ管理業務」では、環境保全と資源の有効利用を推進するためには、事業の拡充を図り、埋立量の減量化を目指す必要がある。
- ・「北見市教職員互助会推進委員会交付金」では、同委員会の事務費については、互助会の予算内で賄えないかなど、最少の事務経費となるよう働きかける必要がある。
- ・「スポーツ少年団(各種スポーツ)大会派遣事業費補助金」では、競技力の向上や心身の健全育成など一定の役割は果たしているものの、現在の財政状況を考慮すると、補助基準の見直しが必要。また、特例措置による不公平感の是正も必要である。
- ・「葬祭給付事業」では、国民健康保険事業が単年度赤字体質であれば、給付額の見直しも検討する必要がある。
- ・「高齢者クラブ運営管理等業務」では、合併により活動施設が増加したことに対し会員数は減少傾向にあることから、活動場所を集約し施設管理費の縮減を図る必要がある。
- ・「ふれあい会食事業費補助金(留辺蘂自治区)」では、一自治区のみで

行っている事業であることから、他自治区との整合を図り、今後の事業の進め方を検討されたい。

- ・「オホーツク北見の物産と観光展補助金」では、類似した事業に対する補助金については、一元化を図る必要がある。
- ・「瑞穂溪流会補助金・留辺蘂溪流会補助金」では、事業実施箇所は異なるものの、事業内容は全く同じであることから統合の必要性が高い。また、他部局で行っている類似事業との統合も検討し、事業のスリム化を図る必要がある。
- ・「火災予防思想普及経費（北見地区消防音楽隊運営費）」では、音楽隊員の縮小により経費縮減は図られているが、今後の運営について更なる見直しが必要である。
- ・「留辺蘂地区秋まつり事業補助金・温根湯地区秋まつり事業補助金」では、人口減少を視野に入れ、将来的には両地域合同で開催するなど実施方法の工夫が必要である。また、温根湯温泉で実施している祭りとの統合も検討されたい。
- ・「香り彩るまちづくり推進機構負担金」では、公園内の空き区画及び枯れているハーブの解消など、景観の改善を図る努力と工夫が必要である。

その他

妥当、概ね妥当とした事務事業における指摘

- ・「マイプラン・マイスタディ事業」、「母子家庭等日常生活支援事業費」、「生活習慣病予防教室ばらんすクッキング」、「市民憲章思想普及事業」では、事業が有効に活用されるようPRを積極的に行い、より成果のある事業とされたい。
- ・「ウッドクラフト振興対策事業補助金」、「おんねゆ温泉観光協会補助金」では、他の関連する機関と連携を図り、効果的な情報発信を積極的に行い、地域経済の活性化に寄与されたい。
- ・「コンベンションシティ北見推進協議会補助金」、「デジタル道路台帳整備現況調査事業」では、類似した事業との整理統合を行い、事業の効率性を高めるとともに、事務のスリム化を図る必要がある。
- ・「ホクレン・ディスタンスチャレンジ実行委員会補助金」、「北見医師会看護専門学校運営費補助金」では、補助金額の妥当性を検証し、より成果のある事業とされたい。
- ・「火葬場運営管理費（やすらぎ苑・常呂町斎場）」、「市営浴場管理費」では、老朽化により管理費の増加が見込まれることから、施設の一本化や代替策の検討が必要である。

- ・「道の駅おんねゆ温泉管理運営」、「住民基本台帳ネットワークシステム経費」では、事業の見直しを行い、より多くの利用が見込める工夫が必要である。また「市営バス・常呂ターミナルの運行維持管理費」では、市民ニーズに適応した運行時間等の見直しにより効果的な運行体制を確立するとともに、バスの小型化を検討し、経費縮減を図る必要がある。

行政評価のシート記載にあたっての指摘

- ・記載にあたっては、市民に対し事業説明していることを意識し、専門用語や行政用語の使用を避け、分かりやすい表現による記載に努められたい。

などの意見があった。

なお、事務事業ごとの評価の詳細については、別紙「北見市行政評価委員会評価結果」を参照されたい。

【評価結果の集計】

外部評価は個別の事務事業に対して行ったが、その中で感じられた共通の課題、あるいは全体を通して指摘すべき点について、個別の評価結果を概括的に分類し、次のとおり取り纏めた。

項 目	19年度事務事業数	18年度事務事業数
妥当	8	8
概ね妥当	13	12
再評価が必要	12	23
廃止等の検討	0	2
評価対象外	0	1
計	33	46

個別の評価においては、妥当・概ね妥当とした事務事業が33項目中21項目と全体に占める割合の64パーセントとなっており、昨年評価と比較すると一定程度の改善は見られるものの、より成果を高めることや経費縮減の観点にたち運営されるよう指摘している。

残り12項目の36パーセントは、事業の実施方法の改善や類似事業の統合の検討などを理由に再評価が必要と評価した。

(2) 職員の評価に取り組む姿勢

事務事業評価の本来の目的は、市の職員がコミュニケーションシートを通じて「事務事業の行政課題を発見し改善すること」である。

しかし、現在の事務事業評価は、平成13年度から本格導入して以来7年が経過しているものの、担当部局において評価が単なる作業となっているのではないかと思わせる事例があった。また、前年度の評価と同様な内容となっているものもあり、職員が事務事業評価に取り組む姿勢が不十分と思われることから、特に次の点を検討されたい。

- ・行政評価は、市民に対し市が行っている業務内容を分かりやすく説明する手段であることから、専門家にしか解らないような表現（行政用語）の使用を避け、市民目線でのコミュニケーションシート作成に心掛ける必要がある。
- ・前年度の評価内容と同様のものが見受けられることから、行政評価の重要性を再確認し、事務事業の見直しについては、前向きな姿勢で取り組む必要がある。
- ・事務事業の実施にあたっては、職員は常に改革意識を強く持ち、管理職が先頭となって改革に向けた積極的な取り組みが必要である。

(3) コミュニケーションシートの記載

コミュニケーションシートの記載にあたっては、一定程度の改善は見られるものの、未だに空白の項目や理解しづらい内容となっているものがあり、必ずしも十分な記載内容となっていない。次年度以降の評価にあたっては、市民に事務事業内容を説明していることを意識し、初めて読む市民でも理解できるような記載方法とする必要があり、特に次の点について検討する必要がある。

- ・コミュニケーションシートは、基本的に空欄を作らない。また、市民に対し事業の説明をしていることを意識し、常に市民目線での記載に努める必要がある。
- ・事務事業の概要や今後の方向性などを明確に記載し、誤解を招かない適正な表現とすること。また、専門家にしか解らないような表現（行政用語）の使用を避け、より理解しやすい表現とすること。

(4) 適正な成果指標の設定

事務事業の目指すべき成果の達成状況を測るうえでは、目標の数値化は重要であり、評価において、適切な成果指標の設定が求められる。一部では、成果指標を設定しづらい事務事業も存在するが、毎年度、担当課の権限と財源で指標値の達成に向けて努力する姿勢を示す必要がある。

また、成果指標は、有効性・効率性などを客観的に測るものさしであり、適正な目標値や正確な実績値を求める必要がある。

このようなことから、次の点に努力する必要がある。

- ・内部事務など成果指標の設定が難しいもの、あるいは、指標の設定に相当の経費がかかるものについては、指標設定の仕方を十分検討したうえで指標化を進めるべきである。
- ・成果指標が設定されている場合でも、事務や事業が本来目指している効果や成果を適切に表されていないため、事業等の必要性や有効性の判断に活用できないものが散見されたことから、指標を設定する意義を再確認し、適切な指標設定に努められたい。

(5) 施策単位での事務事業評価

毎年度、経常的な事務事業をまちづくり計画の基本目標別に評価を行っている。このことは、評価視点を同一に保てること、市の裁量が同じであるため予算との連動について整理しやすいことなどのメリットがある反面、同一の意図を持つ事務事業や類似した事務事業を一体的に評価できないデメリットがある。また、財政面において一段と厳しさが増していく状況にあり、今後においては、これまで以上に社会の変化に適応して事業の必要性や緊急性を検証し、事業の改廃を進めていく必要がある。そのためには、政策や施策単位での評価を行い、積極的に事業を見直していく姿勢が極めて重要である。

4 . 今後の課題

平成12年度にはじまった北見市の行政評価システムは、本年度で8年目を迎えた。当委員会では、事務事業は常に「PDCA」（計画、実施、点検、改善）と循環する行政サイクルの中に位置づけられるものでなければならない、と提言してきており、その成果は確実に上がっている。また、本年2月に策定した行財政改革推進計画の中では、引き続き事務事業評価の活用を図るとともに、施策評価の導入を目指すこととされている。本委員会も昨年の報告書でも述べたように、施策評価は、一体的な評価により、施策に対して成果の低い事業の洗い出し、あるいは、予算規模にあった事業選択や優先順位付けなどに有効と考える。

また、合併に伴い各自治区でそれぞれ実施されている同一の意図を持つ事務事業や類似した事務事業などについては、必要性を検証し、効率性の観点から事業の統廃合を進め、地域の実情に合った特色のある「生きた」事業を新たに構築していく必要がある。

今後の評価にあたっては、なぜその事業を行っているのか、また、その事業の継続がなぜ必要なのかをできるだけ客観的な理由を用いて説明できる評価を目指す必要がある。また、継続事業においては行財政改革の考え方を念頭に置き、改革にあたってはスピード感を持った取り組みとなるよう努力いただきたい。

5 . 北見市行政評価委員

北見市行政評価委員会

委員長 川 江 昇
委員 今 村 一 喜
委員 高 木 幸 枝

副委員長 矢 萩 悦 啓
委員 川 村 彰

別紙 「北見市行政評価委員会評価結果」

北見市行政評価委員会 評価結果

基	事務事業名	所属	評価結果
1	森と緑の会負担金	農林水産商工部 耕地林務課	妥当
	民有林指導育成事業補助金	〃	再評価が必要
	火葬場運営管理費（やすらぎ苑・常呂町斎場）	市民環境部 戸籍住民課	概ね妥当
	市営浴場管理費	市民環境部 環境課	概ね妥当
	リサイクルプラザ管理業務	市民環境部 クリーンライフセンター	再評価が必要
	粗大ごみ臨時受付委託業務	端野総合支所 市民環境課	妥当
2	北見市教職員互助会推進委員会交付金	学校教育部 総務課	再評価が必要
	マイプラン・マイスタディ事業	社会教育部 生涯学習課	妥当
	ホクレン・ディスタンスチャレンジ実行委員会補助金	社会教育部 スポーツ課	概ね妥当
	スポーツ少年団（各種スポーツ）大会派遣事業費補助金	〃	再評価が必要
	市民スケートリンク運営管理事業	〃	妥当
3	母子家庭等日常生活支援事業費	保健福祉部 子ども支援課	概ね妥当
	葬祭給付事業	保健福祉部 国保医療課	再評価が必要
	北見医師会看護専門学校運営費補助金	保健福祉部 健康推進課	概ね妥当
	生活習慣病予防教室ばらんすクッキング	〃	概ね妥当
	高齢者クラブ運営管理等業務	保健福祉部 社会福祉課	再評価が必要
	ふれあい会食事業費補助金（留辺蘂自治区）	〃	再評価が必要
4	ウッドクラフト振興対策事業補助金	農林水産商工部 産業振興課	妥当
	コンベンションシティ北見推進協議会補助金	農林水産商工部 観光振興課	妥当
	オホーツク北見の物産と観光展補助金	〃	再評価が必要
	おんねゆ温泉観光協会補助金	〃	概ね妥当
	道の駅「おんねゆ温泉」管理運営	〃	概ね妥当
	瑞穂渓流会補助金・留辺蘂渓流会補助金	〃	再評価が必要
5	市営バス・常呂ターミナルの運行維持管理費	常呂総合支所 市民環境課	概ね妥当
	火災予防思想普及経費（北見地区消防音楽隊運営費）	消防本部 総務課	再評価が必要
	住民基本台帳ネットワークシステム経費	市民環境部 戸籍住民課	概ね妥当
	道路・雨水桝等清掃作業委託事業	都市建設部 道路管理課	概ね妥当
	乳剤防塵処理作業委託事業	〃	概ね妥当
	デジタル道路台帳整備現況調査事業	〃	概ね妥当
6	留辺蘂地区・温根湯地区秋まつり事業補助金	留辺蘂総合支所 市民環境課	再評価が必要
	市民憲章思想普及事業	市民環境部 市民活動課	妥当
	軽自動車税申告受付事務負担金	総務部 市民税課	妥当
	香り彩るまちづくり推進機構負担金	都市建設部 公園緑地課	再評価が必要

評価結果表

基本目標：1

事務事業名	森と緑の会負担金
--------------	-----------------

担当部課	農林水産商工部 耕地林務課
-------------	---------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、地球温暖化防止に向け健全な森づくりが求められている状況にあることから、緑化事業や林業技術の向上と普及など、当会と連携した活動は必要と認識する。また、会員となっていることで、緑化事業として緑の募金活動や緑化促進事業等の活用ができることから、事務事業の継続は妥当と考える。 ・コミュニケーションシートの記載では、様々な緑化事業としての活動などが成果指標として表現されると、さらに理解が深まると考える。 			

基本目標：1

事務事業名	民有林指導育成事業補助金
--------------	---------------------

担当部課	農林水産商工部 耕地林務課
-------------	---------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林組合の財政基盤と経営体質の強化などのために補助しているが、年々、補助金を削減していく計画となっており、今後、経営安定が図られていくものと推測できることから、将来的には補助の必要性についても検討する必要がある。また、他町では、類似の事業に統合し廃止する方針もあることから、当市においても検討する必要があると考える。 ・段階的に補助金を削減していくことは評価できるが、その理由をシート内で明確に説明されると分かりやすい評価内容になると考える。また、シートの6.事務事業の改善プランでは「現状のまま継続」となっているが「見直しのうえで継続」となるのではないか。 			

評価結果表

基本目標：1

事務事業名	火葬場運営管理費（やすらぎ苑・常呂町斎場）
--------------	------------------------------

担当部課	市民環境部 戸籍住民課、常呂総合支所 市民環境課
-------------	--------------------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、当市においては、合併により3箇所の火葬場が存在することとなり、老朽化により計画的に修繕をすることとしているが、将来的には、段階的に一本化を図る必要がある。 ・使用料については、他市町村の料金設定などを参考にし、使用者負担の増加も視野に入れた検討が必要と考える。 			

基本目標：1

事務事業名	市営浴場管理費
--------------	----------------

担当部課	市民環境部 環境課、常呂総合支所 市民環境課
-------------	------------------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅に浴室がない家庭もあり、またイベント参加者などの利用もあること、さらには代替施設もないことから、現状においては、継続する必要がある施設と考える。 ・建築後27年が経過し、老朽化により修繕を必要とする箇所が年々増えていくと思われることから、今後においては、代替策の検討など将来的な方向性も協議する必要がある。 			

評価結果表

基本目標：1

事務事業名	リサイクルプラザ管理業務
--------------	---------------------

担当部課	市民環境部 クリーンライフセンター
-------------	-------------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、限られた予算内での事業実施となっているが、環境保全と資源の有効利用を推進するためには、事業の拡充を図り、埋立量の減量化を目指す必要がある。 ・ごみに関する事業は、様々な課題が多くあると思われるが、そのことをコミュニケーションシートで表現する必要がある。また、シート作成の際には、表現を工夫するなど市民の目線で記載し、分かりやすい評価内容とするよう努められたい。 			

基本目標：1

事務事業名	粗大ごみ臨時受付委託業務
--------------	---------------------

担当部課	端野総合支所 市民環境課
-------------	--------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみの収集を臨時的に対応することで、不法投棄の減少が図られていることから、事業実施は妥当と考える。 ・個人敷地内で不用と思われる物が無計画に放置されている所が見受けられるが、景観上問題があると感じられ、北見市を訪れた観光客や移住を検討している方々に対して悪い印象を与えてしまう。このことから、市が何らかの指導等が行えないか検討されたい。 			

評価結果表

基本目標：2

事務事業名	北見市教職員互助会推進委員会交付金
--------------	--------------------------

担当部課	学校教育部 総務課
-------------	------------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当委員会は、教職員の元気回復、相互交流を深めるための厚生事業を企画する役割を担っているが、委員会事務費の交付にあたっては、互助会の予算内で賄えないかなど、最少の事務経費となるよう働きかける必要がある。また、当委員会からの実施状況等の報告を受け内容の確認が必要と考える。 ・コミュニケーションシートの記載では、2.イの事務事業の概要を明確に記載すること、また、記載されていない箇所もあることから、今後改善する必要がある。 			

基本目標：2

事務事業名	マイプラン・マイスタディ事業
--------------	-----------------------

担当部課	社会教育部 生涯学習課
-------------	--------------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容については、地域の活性化や生涯学習の推進が図られることから妥当と考える。今後においては、事業のPRを積極的に行い、さらに事業成果を上げるよう努められたい。 ・現在、各自地区ごとに事務事業評価を行っているが、北見市全体で行っている事業であることから、今後の評価にあたっては、一本化を図る必要がある。 			

評価結果表

基本目標：2

事務事業名	ホクレン・ディスタンスチャレンジ実行委員会補助金
--------------	---------------------------------

担当部課	社会教育部 スポーツ課
-------------	-------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
(意見)			
<ul style="list-style-type: none"> ・実業団トップ選手のハイレベルな競技大会を北見市で開催することにより、陸上を志す学生などの技術向上、さらには、陸上競技人口の増加につながるものと思われる。また、集客による経済波及効果も見込まれ、事業実施については妥当と考える。 ・実行委員会への補助金額の妥当性や事業の有効性を検証し、より成果のある事業とされたい。 			

基本目標：2

事務事業名	スポーツ少年団（各種スポーツ）大会派遣事業費補助金
--------------	----------------------------------

担当部課	社会教育部 スポーツ課
-------------	-------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
(意見)			
<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツのレベルの高い大会に出場することは、競技力の向上や心身の健全育成の上でも効果があると認識する。また、出場経費の一部を補助することにより、保護者の負担が軽減されることから、一定の役割は果たしているものとする。 ・しかしながら、現在の北見市の財政状況を考慮すると、今後、補助基準の見直しが必要と思われる。また、基準の特例により補助金を交付している例があるが、行政の公平性に欠けていることから、特例措置についても見直しを強く求める。 			

評価結果表

基本目標：2

事務事業名	市民スケートリンク運営管理事業
--------------	------------------------

担当部課	社会教育部 スポーツ課
-------------	--------------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、氷上スポーツを楽しむ人口が減少傾向にあるが、当該事務事業を継続実施し冬季スポーツの振興及び競技力の向上や健康増進を図ることは必要である。また、施設利用者の増加を図ることも必要と考える。 ・コミュニケーションシートでは、スケートリンクの造成が必要と記載されているが、施設をどのように活用していくかなど、今後の方針も記載することが必要である。 			

基本目標：3

事務事業名	母子家庭等日常生活支援事業費
--------------	-----------------------

担当部課	保健福祉部 子ども支援課
-------------	---------------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績はないが、親族等で対応できない場合の最終的な手段であり、制度そのものは必要と考える。 ・今後においては、委託先と連携を図り、制度を有効に活用できるよう制度のPRに努められたい。 			

評価結果表

基本目標：3

事務事業名	葬祭給付事業
--------------	---------------

担当部課	保健福祉部 国保医療課
-------------	-------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険事業が単年度赤字体質であれば、全体の事業のあり方として、葬祭給付の額を含め見直しの検討が必要と考える。 ・評価シート内に空白が目立ち、十分な評価がなされていないと思われる。市民への説明責任を果たす意味からも、記入するべきところはしっかりと記入するとともに、行政評価の重要性を再認識されたい。 			

基本目標：3

事務事業名	北見医師会看護専門学校運営費補助金
--------------	--------------------------

担当部課	保健福祉部 健康推進課
-------------	-------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、看護師不足の状況にあり、地域医療制度の確保として看護師の養成は必要と考える。 ・補助金額は定額としているが、生徒数などにより補助金額を増減できないか検討されたい。また、卒業される生徒の地元就職の確立も検討されたい。 			

評価結果表

基本目標：3

事務事業名	生活習慣病予防教室ばらんすクッキング
--------------	---------------------------

担当部課	保健福祉部 健康推進課
-------------	-------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、生活習慣病の予防が注目されており、市としても予防に対する取り組みは必要と考える。また、医療費の軽減にもつながることが想定され、事業の有効性は認識する。 ・年1回、定員20名を対象に事業を実施しているが、今後においては、実施回数や対象人数を増やすなど、広く市民に周知し、より効果のある事業とされたい。 			

基本目標：3

事務事業名	高齢者クラブ運営管理等業務
--------------	----------------------

担当部課	保健福祉部 社会福祉課
-------------	-------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者クラブへの入会者が減少傾向にあるが、担当課として、その理由を確認し、対応する必要がある。一つの理由として、高齢者クラブという名称に問題があると思われる。 ・合併に伴い、活動施設が増加したことに対し会員数は減少していることから、活動場所を集約し、施設管理費の縮減を図る必要がある。 ・事務事業の評価内容が施設管理費や活動費など複数含まれていることから、分かりづらい評価内容となっている。市民が見ても理解しやすい内容とするためには、分割して評価する必要がある。また、成果指標についても、活動状況が分かる指標を設定するなど、工夫が必要である。 			

評価結果表

基本目標：3

事務事業名	ふれあい会食事業費補助金（留辺蘂自治区）
-------	----------------------

担当部課	保健福祉部 社会福祉課
------	-------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>（意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留辺蘂自治区の独自事業として定着しており、高齢者の社会参加と交流の場として、成果のある事業と認識するが、現在、留辺蘂自治区のみで行っていることから、今後は他自治区との整合を図り、事業の進め方を検討されたい。また、会食費については、全額利用者負担を求める必要がある。 ・事務事業名だけを見ると、会食のみの事業と誤解を招く名称になっていることから、本来の事業目的が表現された名称に変更してはどうか。 			

基本目標：4

事務事業名	ウッドクラフト振興対策事業補助金
-------	------------------

担当部課	農林水産商工部 産業振興課
------	---------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>（意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊富な森林資源を最大限に活かし、地場産業の振興を図ることは重要と認識し、事業の目的は妥当と判断する。今後においては、さらに関係団体と連携を図るとともに、さらなる取り組みにより地域経済の活性化に寄与されたい。 ・コミュニケーションシートの記載では、成果指標が空白となっていることから、販路拡大などの具体的な活動内容や、それに伴う成果が確認できない。コミュニケーションシートは、市民への事業説明や必要性を発信するツールとして活用されたい。 			

評価結果表

基本目標：4

事務事業名	コンベンションシティ北見推進協議会補助金
--------------	-----------------------------

担当部課	農林水産商工部 観光振興課
-------------	---------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国、全道規模の大会やイベントなどを開催することにより、経済波及効果が見込まれることから、誘致事業は必要と認識する。 ・他に類似した事業があるが、最終の目標が同じものは整理統合を行い、事業の効率性を高める必要がある。 ・コミュニケーションシートは、ホームページ等で公開していることから、正しい数値や分かりやすい表現で記載する必要がある。 			

基本目標：4

事務事業名	オホーツク北見の物産と観光展補助金
--------------	--------------------------

担当部課	農林水産商工部 観光振興課
-------------	---------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・類似した事業や同じ趣旨の補助金が複数あり複雑になっていることから、一元化を図る必要がある。また、一元化を図ることにより、事務の効率化につながるものとする。 ・コミュニケーションシートの記載では、2. 事務事業の概要と目的のウの欄で、「出展者の売上が期待できる。」とあるが、特定の受益者に偏っているかのように感じさせる表現となっていることから、例えば「地元の産業振興の発展が期待できる。」など、本来の意図する成果を明確に記載し、市民に分かりやすく誤解を招かない適正な文章表現に努められたい。 			

評価結果表

基本目標：4

事務事業名	おんねゆ温泉観光協会補助金
--------------	----------------------

担当部課	農林水産商工部 観光振興課
-------------	---------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おんねゆ温泉郷の情報を広く発信することで、観光客入込数の増加、地域経済への波及効果が期待できることから、協会への補助は必要と考える。 ・今後においては、他の関連機関と十分な連携を図り、効率的かつ効果的な情報発信を積極的に行われたい。 			

基本目標：4

事務事業名	道の駅「おんねゆ温泉」管理運営
--------------	------------------------

担当部課	農林水産商工部 観光振興課
-------------	---------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備された清潔感のある休憩の場を利用者に提供することで、リピーター率の向上につながり、周囲にある観光施設等への波及効果も見込まれることから、今後も適正な維持管理が必要である。 ・燃料価格高騰さらには道路状況の変化により、利用者の減少が予想される。今後においては、道の駅の一体的な事業の見直しを図り、より多くの利用が見込める工夫が必要である。また、事業の見直しにおいては、経費の縮減も念頭に置き、サービス向上に努められたい。 			

評価結果表

基本目標：4

事務事業名	瑞穂渓流会補助金・留辺蘂渓流会補助金
--------------	---------------------------

担当部課	農林水産商工部 観光振興課
-------------	---------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稚魚を放流する川は別だが、それぞれの事業内容は全く同じものとなっており、統合の必要性が高い事業と評価する。また、他部局で類似の事業があるが、統合に向けた検討を行い、事業のスリム化に努められたい。 ・事業の目的は理解できるが、受益者が特定されていると思われる。今後においては、事業のあり方、さらには民間での実施を検証するなど、十分な検討が必要である。 			

基本目標：5

事務事業名	市営バス・常呂ターミナルの運行維持管理費
--------------	-----------------------------

担当部課	常呂総合支所 市民環境課
-------------	--------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営バスの運行は、交通弱者の移動手段を確保するうえで必要なものと認識する。 ・事業実施にあたっては、乗車状況の調査を行うとともに、利用者及び地域のニーズを把握したうえで、運行時間を見直すなどより効果的な運行体制の確立が必要である。 ・現在運行している大型バスの小型化を検討し、経費縮減を図る必要がある。さらには、健全な運営を行うためには、料金の見直しも今後の課題と考える。 			

評価結果表

基本目標：5

事務事業名	火災予防思想普及経費（北見地区消防音楽隊運営費）
--------------	---------------------------------

担当部課	消防本部 総務課
-------------	----------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和33年から継続され歴史ある音楽隊であり各種式典で活躍しているものの、年々活動場所や回数が減少している状況にあり、平成19年度には音楽隊員の縮小による経費の縮減が図られているが、今後の運営については、更なる見直しが必要と考える。 ・地域住民に対し防火防災意識を高める活動は必要であり、実際、様々な手法で行われていると思うが、音楽隊の活動による成果は不明瞭であり、今後においては定期的な見直しが必要である。 			

基本目標：5

事務事業名	住民基本台帳ネットワークシステム経費
--------------	---------------------------

担当部課	市民環境部 戸籍住民課
-------------	-------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民基本台帳ネットワークシステムにより、いくつかの手続きに住民負担の軽減が図られているとともに、内部事務の効率化が図られていることから効果のある事業と認識する。 ・現在、住民基本台帳カードの活用方法として身分証明のみに止まっているが、今後は、多目的に活用できる体制作りが課題であり、他市の導入事例を研究し、積極的にカードの付加価値を高める検討が必要である。 ・コミュニケーションシートの記載では、成果指標に住民基本台帳カード交付累計を記載することで、交付状況がより明確になる。また、多目的な活用を図るための様々な検討内容や協議した経過なども明記されたい。 			

評価結果表

基本目標：5

事務事業名	道路・雨水樹等清掃作業委託事業
--------------	------------------------

担当部課	都市建設部 道路管理課
-------------	-------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路環境保全及び事故を未然に防ぐためにも必要な事業と認識する。また、「冬あか一掃運動」による道路清掃では、他機関との連携が図られていることから高く評価する。 ・事業の実施内容については、市民周知がされていると思うが、広く認識されているか疑問であり、今後の検討課題とされたい。 ・昨今、異常気象ともいえる大雨により、住民生活に影響を及ぼす被害が各地で見受けられる。北見市においても例外ではなく、常に防災の意識を高め、引き続き適正な保守・管理に努められたい。 			

基本目標：5

事務事業名	乳剤防塵処理作業委託事業
--------------	---------------------

担当部課	都市建設部 道路管理課
-------------	-------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の快適な生活環境の確保を図るうえで、必要な事業と認識する。 ・コミュニケーションシートの記載では、専門用語が使用されていることから、解説や分かりやすい表現に置き換えるなど、市民目線での記載に努められたい。また、「5.事務事業の評価」の工で、単位コスト又は事業費は工夫できない評価となっているが、「6.事務事業の改善プラン」では、施工方法の選定によって事業費を抑制できるとなっており、評価内容に整合性がない。 			

評価結果表

基本目標：5

事務事業名	デジタル道路台帳整備現況調査事業
-------	------------------

担当部課	都市建設部 道路管理課
------	-------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合型地理情報システムに必要となる基図となることから、必要な事業と認識する。 ・課内又は課をまたいで類似した事業が見受けられるが、統合による事務のスリム化が図れないか検証されたい。 ・コミュニケーションシートの記載では、専門用語が多く使用されていることから、解説や分かりやすい表現に置き換えるなど、市民目線での記載に努められたい。 			

基本目標：6

事務事業名	留辺蘂地区秋まつり事業補助金・温根湯地区秋まつり事業補助金
-------	-------------------------------

担当部課	留辺蘂総合支所 市民環境課
------	---------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が協力して行われている歴史ある祭りではあるが、運営資金が不足している状況にあり、今後は人口の減少も想定されることから、将来的には両地域合同で開催するなど祭りの実施方法の工夫が必要と考える。 ・温根湯温泉で実施している様々な祭りと統合できないか検討されたい。 ・留辺蘂地区と温根湯地区の世帯負担金に差異が生じており、今後においては公平性を確保する必要がある。 			

評価結果表

基本目標：6

事務事業名	市民憲章思想普及事業
--------------	-------------------

担当部課	市民環境部 市民活動課
-------------	-------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民憲章思想の普及については、まちづくりの行動規範として重要であることから、現在行われている事業内容を十分検証し、今後においても様々な手法を取り入れ、積極的かつ効率的に実施されたい。 今後においては、コンクールの実施を積極的に行うなど、引き続き成果重視の事業とされたい。また、毎月の「広報きたみ」に掲載するなど、広く市民の目に触れるような手法も検討されたい。 			

基本目標：6

事務事業名	軽自動車税申告受付事務負担金
--------------	-----------------------

担当部課	総務部 市民税課
-------------	----------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの協会に申告受付事務を委託することで、車両登録を行う市民の利便性の確保が図られているとともに、受付事務全体の効率化が図られていることから、効果的な事業と認識する。 コミュニケーションシートの記載では、市民に対し事業説明していることを意識し、より分かりやすい表現で誤解の招かない記載に努められたい。 			

評価結果表

基本目標：6

事務事業名	香り彩るまちづくり推進機構負担金
-------	------------------

担当部課	都市建設部 公園緑地課
------	-------------

妥当	概ね妥当	再評価が必要	廃止等の検討
(意見)			
・公園内では、空いている区画や枯れているハーブが目立ち、景観を損ねている。今後においては、空いている区画の解消に加え、天候に左右されない品種を植栽するなど、さらなる努力と工夫が必要と考える。			
・コミュニケーションシートの記載では、前年度、前々年度の評価内容と同様の表現となっており、事業に取り組む前向きな姿勢が不十分である。			